

しのめだより

第7号 令和7年3月5日 発行



兵庫県立篠山東雲高等学校

兵庫県丹波篠山市福住1260

Tel:(079)-557-0039 Fax:(079)-557-1888

facebook

本校HP



こまるいの (篠山東雲高校マスコット)



←随時更新中！HP、Facebookをご覧ください。

第14回 卒業証書授与式

2月28日(金)第14回 卒業式が挙行されました。来賓や保護者の多数のご臨席を賜り、29名の卒業生の門出を盛大に祝うことができました。以下に卒業生の答辞を掲載します。

答 辞

教室の窓から見える風景にも春の気配を感じる季節となりました。

本日は、私たち29名の卒業生のために、このような心のこもった式を挙行して頂き、誠にありがとうございます。また、ご多忙の中ご出席くださいました、ご来賓の皆様、富田校長先生を始めとする先生方、保護者の皆様、在校生の皆さん。卒業生一同、心より御礼申し上げます。先ほどより、皆様から頂いた数々のお祝いや、激励のお言葉を胸に、本日、私たち29名は、篠山東雲高等学校を、卒業いたします。

思い起こせば、入学してから今日までの3年間は、本当にあっという間で、嵐のように過ぎていきました。ここに居る仲間たちと過ごした、何気ない日常は、今となっては一生の宝物で、かけがえのない時間だったと感じます。東雲高校で過ごした日々の中で、私たちは沢山のことを経験し、楽しいことも、辛いことも、みんなで乗り越えてきました。

3年前。真新しい制服に身を包み、新しい仲間と、新しい環境に、期待と不安が入り交じる中、この学校に入学しました。入学してすぐのオリエンテーション合宿。自己紹介をして、似顔絵を書きあい、仲間と協力してボルダリングをしたり、丸太を渡ったりして、友達との絆を深めていきました。授業では本格的に農業実習が始まり、小学生以来の田植えをしました。植え終わった後は大きな達成感を得ることができたことを覚えています。ほかに、猛暑の中での除草作業、極寒の中でのかん水作業と、本当に大変なこともありましたが、みんなで助け合い、声を掛け合いながら取り組むことで、自然に頑張れる力が身につきました。

2年生では、本格的に類型活動が始まりました。校内の実習だけでなく、校外の実習や、販売実習もあったため、休日にも実習をしに行くことがありました。そんな忙しい年中、修学旅行では、自然の力を生かした循環型農業について学び、水牛やニワトリ、マイクロきゅうりなど普段見慣れない動物や野菜を沢山見ることが出来ました。

あっという間に最終学年となり、3年生では、全てに「最後」という文字が付くようになりました。本格的に進路を考えないといけなくなり、教室がピリピリとした雰囲気になりました。大量の書類作成に、面接練習。合格するか不安になっていた時、担任の先生に助けを求めると「先生の右手とグータッチしたら絶対合格するで。力が蘇ってくるわ!」と笑顔で言われ、私は先生と熱いグータッチを交わして、受験に挑みました。色んな先生に面接練習をお願いし、言葉や態度を沢山指摘され心が折れそうになることもありましたが、合格や内定をもらうために、頑張りました。11月には最後の文化祭。教室展示と演劇の2つに分かれ、両方うまくやれるだろうかと、プレッシャーを感じていましたが、「やるなら恥ずかしさを捨てて全力でやろう!」という、先生との約束を守り、全力で楽しんでやりきり、沢山の人の人から好評を得ることが出来ました。

進路や行事と並行して、一番大変で、一番忙しかったのは、課題研究でした。4月から研究内容を考え、年間計画を立てました。作物の研究や動物の研究、食品の研究。それぞれ類型に合った研究をし、全て自分で進めないといけないため、苦勞しました。実験をするのにも、記録をとるのにも、時間が上手く使えない日々。何度も「諦めようかな…」と思いかけてそれでも、毎日放課後遅くまで残り、発表準備を頑張りました。本番はとても緊張し、今までやってきたことが、発表を見てくれている人に伝わるか不安でしたが、「今日のために1年間頑張ってきたのだから、最後までやり切ろう」と思い、乗り切ることが出来ました。忙しい中、クラスみんなで色々なことに取り組み、無事に全てやりきることができて良かったです。



3年を振り返った時、何よりも感謝を伝えたいのは、先生方と、18年間、いつも自分の味方でいてくれたお父さんや、お母さんです。

先生方は、担任の先生をはじめ、このクラスが「ごきげんなクラス」になるように、一人一人と向き合ってくれました。各教科や農業実習においても、親身に、そして、丁寧に指導して下さり、うまく出来た時は、一緒に喜んで、失敗した時は、私たちが下を向かないように、次はどう進むのか、真剣に考えてくださいました。本当に感謝しています。私たちを導いて下さり、本当にありがとうございました。

お父さん、お母さん。今日まで私たちを支えてくれて、本当にありがとう。年頃で口を聞かず、「お父さんよりお母さんが良い」と、はっきり言って、悲しい顔をさせてしまったお父さんへ。お父さんは静かに自分の話を聞いてくれて、遊びに行った時は、「どこ行っとんや〜？帰りは大丈夫なんか？」と、心配してくれました。普段は無口だけど、いざという時は必ず自分のヒーローとなってくれる、ツンデレで、世界一カッコいいお父さん。大好きだよ。恥ずかしくて言えないことが多いけど、いつも本当にありがとう。

毎日お弁当を作ってくれて、学校から帰ったら、毎日今日あったことを聞いてくれたお母さん。お仕事も大変なはずなのに、学校の予定に合わせて、農当の送り迎えや、行事を見に来てくれたこと、感謝でも感謝しきれません。何かあったらすぐに「お母さーん！」と助けを呼んで、沢山迷惑もかけてしまったと思います。でも、お母さんがいつも隣に居てくれたから、元気に学校へ通えました。「頑張れ」というお母さんの言葉が、自分にとって1番勇気がでて、前向きにさせてくれました。まだまだこれからも心配をかけることがあると思うし、助けを求めることがあると思うけど、いつかお母さんに恩返しができるように頑張ります。優しくて頼りになるお母さんが大好きです。これからもずっと尊敬しています。

そして、在校生の皆さん。今日まで私たちについてきてくれて、ありがとうございました。皆さんの支えは、私たちの大きな力となり、可愛い後輩の存在は、心の拠り所でした。私たちは、それぞれの進路に向かって、一步一步、前に進んでいきます。今後、大きな壁にぶつかることもあるでしょう。しかし、後輩の皆さんとともに、篠山東雲高校で得た、多くの思い出や学びを、人生の糧とし、力強く、前に進んでいきます。皆さんのこれからを心から応援し、大きく成長することを楽しみにしていますので、これからも頑張ってください。

最後になりましたが、これまで私たちを温かく見守ってくださった、地域の皆様をはじめ、私たちを支えてくださった、多くの方々への感謝と、篠山東雲高校の、ますますのご発展を、心より祈念して、答辞といたします。

令和7年 2月28日

卒業生代表

○ 産業教育振興中央会長賞

御下賜金記念優良卒業生

○ 全国農業高等学校校長協会賞

○ 兵庫県産業教育振興会優良卒業生

○ 兵庫県高等学校校長協会農水産部会長賞

○ 兵庫県学校農業クラブ連盟表彰

○ 兵庫県学校農業クラブ連盟賞

○ 兵庫県高等学校農水産技術顕彰

○ 皆勤賞

